


安全のために

同梱されている付属の電源ケーブルは本機専用です。他の機器に接続して使用しないでください。

製品を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず本書および取扱説明書をお読みください。お読みになったあとはいつでも見られる所に必ず保管して下さい。お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために以下の記号、絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。


 **警告** この表示の注意事項を守らないと死亡や負傷等の人身事故につながる可能性があります。


 **注意** この表示の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

 注意、警告する記号  行為を禁止する記号


 分解を禁止する記号  行為を指示する記号


警告


 万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。安全を確認してから販売店、または当社へ修理をご依頼ください。


 万一、機器の内部に異物や水などが入った場合には、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店、または当社へご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。


 電源コードが痛んだら、販売店、または当社へご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。


 この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100V）以外の電圧で使用しないで下さい。火災、感電の原因となります。


 この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。また、通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり落とし込んだりしないでください。火災、感電の原因となります。


 この機器の上に花瓶や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり中に入った場合火災、感電の原因となります。


 電源コードの上に重いものをのせたりコードを機器で挟んだり下敷きにならないようにしてください。コードに傷が付いて火災、感電の原因となります。

 電源コードを傷付けたり、加工したり無理に曲げたりねじったり引っぱったり加熱したりしないでください。コードが破損して火災、感電の原因となります。


 この機器のカバーは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検、修理は販売店又は当社にご依頼ください。


 この機器を改造しないで下さい。火災、感電の原因となります。

 この機器を設置する場合は壁から20cm以上の間隔をおいてください。放熱をよくするために他の機器との間隔を少し離しておいてください。ラックなどと機器の天面や背面から少しすき間をあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。


 万一この機器を落としたりキャビネットを破損した場合には機器本体の電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いて販売店、または当社へご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。


警告


 この機器を設置するときは転倒、移動防止の処置をしてください。処置をしないと倒れたり動いたりして怪我をすることがあります。また、設置場所の強度を十分ご確認ください。


 この製品の上に乗ったり重いものをのせないでください。倒れたり、落ちたり、壊れたりして怪我の原因となることがあります。


注意


 めれた手で電源プラグをさわらないでください。感電の原因となることがあります。


 電源コードや接続コードを接続するときは電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。


 指定された電源コード、接続コードを使用して下さい。感電や故障の原因となることがあります。

 電源をいれる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て機器の破損、聴力障害などの原因となることがあります。

 電源プラグを抜くときはコードを引っぱらないでください。コードが傷付き火災、感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いて下さい。

 移動させる場合は電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷付き火災、感電の原因となることがあります。

 電源コード、接続コードをストーブなどの熱機器に近づけないで下さい。コードの被ふくが溶けて火災、感電の原因となることがあります。

 長期間お使いにならないときには電源コードをコンセントからかならず抜いて下さい。